

紙おむつの 定額制



えんどう りょうこ 議員 遠藤 亮子



質問者の録画映像
はこちらから

遠藤

町内の保育所などに通う、0～2歳児を対象とする紙おむつと、おしりふきの月額定額制度について導入してはどうか。

子育て支援課長

今年6月、町内5つの施設に子ども

を通わせる0～2歳児の保護者134件を対象に、アンケートを実施した。107件の回答があり、88%の方が「利用したい」または「金額や商品次第では利用したい」との内容だった。今後、サービス導入に向けた課題の整理と施設との協議・調整を行い、くわしい制度づくりを進めていきたい。

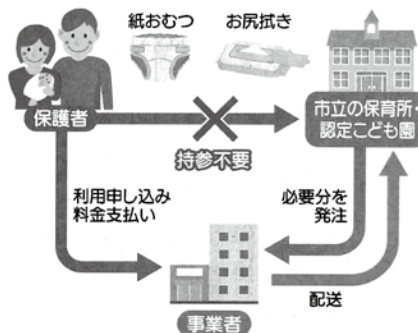
遠藤

前向きな回答が多いが、実施するならば金額の設定はどのくらいか。

子育て支援課長

金額については、今後、サービスの提供方法や契約方法などくわしい内容の検討を進めるなかで決定する。

〔紙おむつなどの定額利用サービスのイメージ〕



2024.11.29 福島民報新聞より抜粋

る。

子育て支援課長

希望する保護者のみを考えてい

か。

遠藤

定額制を設ける場合、対象者全員が利用する形になるの

Q

紙おむつとおしりふきの定額利用制度の導入は

A

くわしい制度づくりに取り組みたい

スマート農業



はしもと ぜんいちろう 議員 橋本 善一郎



質問者の録画映像
はこちらから

橋本

中山間地域等のスマート農業導入の現状と今後の課題は。

産業課長

中山間地域等直接支払制度において、スマート農業加算措置が、今年度より設けられた。ドローンやリモコン式自動草刈機などの導入に対し、一定要件を満たせば10アールあたり5、000円、最大200万円まで交付が受けられる。町では現在、中山間地域等直接支払制度に取り組む29集落のうち10集落より相談を受けている。普及促進のための情報収集や広報でお知らせし、技術を活用できる人材の確保が課題である。

橋本

農業法人、認定農業経営者等に対する支援策は。

産業課長

「三春町スマート農業推進事業補助金」を令和6年度に制定しており、事業費の3分の1以内、上限30万円の支援を行う



農薬散布が楽になったドローン



中山間地域等直接支払制度について(農林水産省HP)

橋本

稲作の規模拡大について、休耕水田の作付けは可能か。減反政策はどうなるのか。

産業課長

国では令和9年度をめどに、水田政策の抜本的な見直しを検討している。今後国の動向を注視しながら情報収集を行い、JAなどの関係機関と連携し必要な対策を行っていく。

っている。

Q

スマート農業導入の今後の課題は

A

技術を活用できる人材の確保が課題である